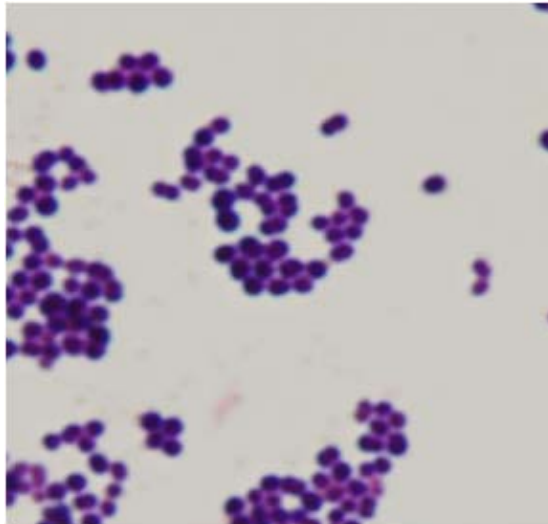


4. スタフィロコッカス科 (Family *Staphylococcaceae*)

ブドウ球菌属 (Genus *Staphylococcus*)

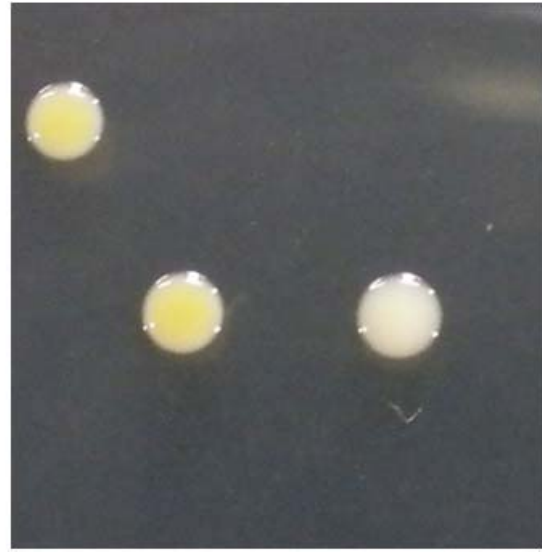
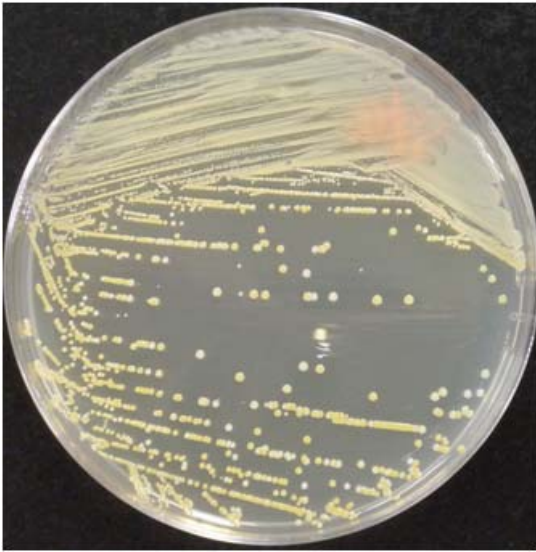
- ・グラム陽性で、ぶどうの房状(ラテン語で *staphylos*)の配列を示す球菌。

黄色ブドウ球菌のグラム染色像



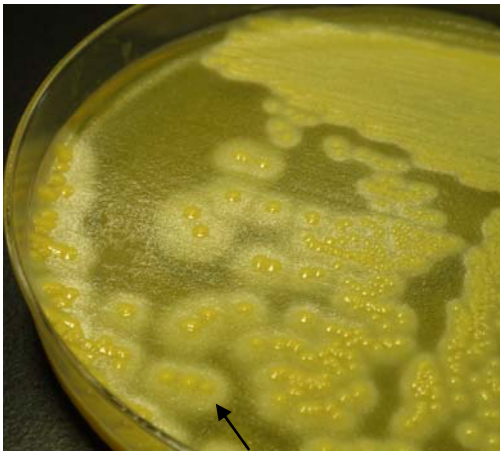
- ・黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*) は毒素型食中毒の原因菌の1つで、数時間の潜伏時間で嘔吐、悪心などの症状があるが、比較的軽く経過する。
- ・健康者の皮膚（特に鼻腔内）にも常在する。
- ・化膿性疾患の原因菌であり、また、多剤耐性を示すMRSA (Multidrug Resistant *S. aureus*) は院内感染で問題となる菌の1つである。

普通寒天培地上の黄色ブドウ球菌

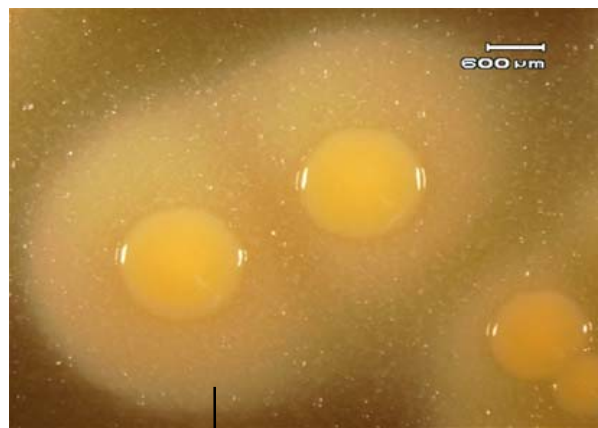


- ・多くの菌株は黄色の色素をつくることから黄色ブドウ球菌と呼ばれるが色素を産生しない菌株もあり、生化学性状を調べて同定する。
- ・写真の白色集落は、3日目位から薄い黄色の色調を呈した。

卵黄加マンニット食塩培地上の黄色ブドウ球菌



マンニット分解
卵黄反応陽性



卵黄反応

マンニット食塩培地：マンニットと7.5%の食塩を含み、卵黄液を加えて使用することが多い。

卵黄反応

卵黄を分解する酵素による反応を総称してレシトビテリン (LV) 反応と呼び、ブドウ球菌のリパーゼによる分解は卵黄反応と言う。

一方、レシチナーゼCを産生する *Bacillus cereus* や *Clostridium perfringens* は、レシチナーゼ反応と言い、特に *C. perfringens* は、この反応を発見した Nagle にちなんで Nagler 反応と言うことがある。

これらはすべて集落下の培地に白濁環がみられる。